

NEWS 港湾ニュース

■ マチナカにクルーズ船がやってくる！ ～函館港若松地区クルーズ船岸壁整備事業について～

函館開発建設部 築港課

はじめに

函館港は1859(安政6)年に我が国最初の国際貿易港として横浜、長崎とともに開港し、道南圏の物資流通や経済活動を支えてきました。函館と青森を結ぶ青函航路は、日本の食料基地である北海道から本州へ水産品や野菜、食料加工品の玄関口としての重要な役割を果たしています。また、近年は、国内有数の観光都市を支えるウォーターフロント開発や国際的な水産・海洋に関する学術・研究拠点整備が進んでいるほか、クルーズ船需要の高まりにより船型が大型化し、寄港隻数が増加しています。2016年(平成28)から2年連続で北海道第1位の寄港数(2016年：26隻、2017年：28隻、2018年(予定)：31隻)となる中、同年から函館港若松地区に大型クルーズ船に対応した岸壁の整備に着手しました。

事業概要

函館港では、4万トンを超えるクルーズ船が接岸できる岸壁は、観光スポットが集中する中心市街地から約6.5kmも離れた港町ふ頭にしかなく、当該岸壁は主に貨物を扱うため、金属くずが堆積するなど景観が悪いことから、観光目的のクルーズ船旅客の消費活動

を阻害する要因になっていました。

そのため、JR函館駅まで約300mの至近距離にあり、バスや市電といった交通拠点や函館朝市や金森赤レンガ倉庫郡といった中心市街地の観光スポットへのアクセスが容易な若松地区に、延長360m、水深-10mのクルーズ船岸壁の整備を進めています。

これにより、クルーズ旅客は出港間際まで観光やショッピングを楽しむことができるようになり、地域経済の活性化に大きく寄与するものと期待されています。また、昨年3月に函館市中心部から北斗市七重浜地区までの全線が開通となった函館港幹線臨港道路湾岸線の利用により、函館市のみならず、近隣の観光地へのアクセスが向上しており、より広域的な波及効果にも期待が寄せられています。

着工式典

平成29年11月15日には、海上での本格的な杭打ち作業が始まり、同年12月3日に函館市国際水産・海洋総合センターにおいて、函館港若松地区クルーズ船岸壁整備事業の着工式典を開催しました(主催：北海道開発局函館開発建設部、函館市)。式典には港湾関係者ら約90名が出席し、クルーズ船寄港の際に乗

旧青函連絡船岸壁を活用した旅客船ふ頭整備 国土交通省



岸壁位置図



函館遺愛女子高等学校吹奏楽局による記念演奏



工藤函館市長式辞

船客に「おもてなし」活動を行っている函館遺愛女子高等学校の吹奏楽局の記念演奏や来賓として地元国会議員からお祝いの言葉をいただき、最後にはくす玉が割られ着工を祝いました。

おわりに

本年中には現在の泊地水深 - 8m で受け入れ可能な



くす玉割りの様子

クルーズ船の入港に備え、鋭意岸壁整備を進めているところです。

函館市は、若松地区完成後の寄港数 70 隻を目指していることから、函館開発建設部は、工事安全と周辺環境の保全に万全を期し、1 日も早く施設を完成させるべく、事業を進めていきます。

■ 室蘭港ガントリークレーンの更新について

室蘭市 港湾部 港湾政策課

ガントリークレーン更新の経緯について

室蘭港は北海道南西部の内浦湾東端に位置し、内浦湾に向かって突き出した絵鞆半島により太平洋から遮蔽された入江を形成する、静穏度の高い天然の良港であります。

室蘭港では、ユニットロード貨物の輸送ニーズの高まりによって、平成 7 年には崎守地区にコンテナバースを建設、平成 9 年にはガントリークレーンを設置し、コンテナの積卸しを行ってきており、ガントリーク

レーンは釜山港とのコンテナ航路の運営に重要な役割を果たしてきました。

従前のクレーンは、昭和 45 年に横浜港本牧ふ頭で使用していた機種を平成 9 年に無償で譲り受けたものです。室蘭港に移設された時点で既に 28 年が経過しており、移設後、更に 18 年が経過し大切に使用してきたところではありますが、老朽化が顕著になり補修費用が増大してきたこと、部品の調達が困難な箇所が故障する可能性があること、使用不能となる可能性と隣り合わせの状況の中で、埠頭利用者から更新の要望が本格化したこともあり、平成 29 年度に更新致しました。



新旧ガントリークレーン（手前が新規）

更新の概要

新クレーンは、従前の 10 列 3 段積み (1 万 2 千トン級対応) から 13 列 5 段積み (3 万 2 千トン級対応) へ大型化し、それに伴い巻上・横行速度も向上させたことから、サイクルタイムも改善され、作業効率も高まりました。また、20ft・40ft の固定式スプレッドしか吊具が無い状態でしたが、伸縮式のスプレッドを 2 台、重量物用吊具の他に棒鋼の積込み用に使う専用の吊具